編集後記

「秋深き 隣は何を する人ぞ」．中学生の頃に習った松尾芭蕉の晩年の句が思い出される季節です．芭蕉は旅先で病に伏し，この句を詠んだ2週間後に亡くなっています．隣といっても必ずしもお隣近所という訳ではないようで，あるいは遠く離れ，会うことができなくなった友人や知人，家族に思いを馳せていたのでしょうか．解釈は様々だそうですがそれも芭蕉の意図なのかもしれません．秋深き，は残り少ない人生の深奥を表しているようでもあります．

JNET第5巻第2号をお届けいたします．本号には，CASと脳動脈瘤という，現在，脳血管内治療で最も頻繁に出会う疾患に関するすばらしい原著をいただきました．また症例報告は急性期血行再建，静脈洞血栓症，鼻出血，テクニカルノートは3D angiographyを用いた脳循環評価と，大変バラエティに富んだ内容になっています．原著の2編の論文はいずれも第26回日本脳神経血管内治療学会における優秀演題推薦論文です．JNETの創刊とともに，JSNET学術総会の英文誌 Interventional Neuroradiology における英文講演集がなくなりました．さらにさかのぼるとJSNETの前身である日本脳神経血管内手術研究会では和文講演集が刊行されていました．現在では脳血管内治療に関する教科書や論文が様々な形で身近にあり，かつてのように講演集を片手に新しい治療のノウハウを学ぶ時代ではなくなりました．しかし，JSNET学術総会における貴重なご発表を形に残していただき，より多くの方々に学んでいただくという優秀演題推薦論文の意義はいまだ大きいと思います．本年の学術総会でも優秀演題のご推薦をいただくことになっておりますので，ぜひとも推薦論文の投稿をお願い申し上げます．もちろん，通常の投稿と同様，ブラインドレビューによる査読がありますが，推薦論文にしろ通常投稿にしろ，いただいた原稿は掲載に至るまで著者とのやりとりを繰り返しながら論文に仕上げていく方針です．なかには掲載に至るまでに時間を要することもありますが，形になるまでおつきあいいただければ幸いです．冒頭の句を「秋深し」と覚えていたかたもおられるのではないでしょうか．ひと文字の違いですがずいぶん印象が違います．気持ちのこもった論文原稿には，ちょっとした表現や文章の細部にまで配慮が感じられます．芭蕉には失礼な引用かもしれませんが，ぜひともこだわりのある原稿をお待ちいたしております．

平成23年10月

日本脳神経血管内治療学会　機関誌編集委員長　中原一郎

JNET　Vol.5 No.2 November 2011

2011年11月30日発行　第5巻　第2号
編集・発行　特定非営利活動法人日本脳神経血管内治療学会
〒102-0074　東京都千代田区九段南2－1－30
イタリア文化会館ビル8F
TEL：03-3239-7264　FAX：03-3239-7225
E-mail：jsnet-admin@umin.ac.jp
Web site：http://www.jsnet.umin.jp/
製　作　株式会社メディカ出版
〒564-8580　大阪府吹田市広芝町18－24
TEL：06-6385-6931　FAX：06-6385-9091

本書の著作権は当学会が所有しておりますので、当学会の許諾を得ないで本書の内容を転載刊行することを禁じます。